



20 大龍山翁松寺跡

だいいゆうざんおうしょうじ  
高山の瑞光寺の末寺で曹洞寺。  
ずいこうじ  
永正10年(1513年)に瑞光寺42代  
えいしょう  
の真翁慶観和尚が開山したといわれる。  
本尊は大黒天であったとされる。  
明治初期の廃仏毀釈で廃寺となり、現  
はいぶつきしゃく  
在は木入道公民館奥の墓地に僧の墓が数  
基残るのみである。

21 愛宕神社

創建は不明。  
祭神は、火の神様・鍛冶の神様の  
カグツチミコトである。  
社殿には、三本足のカラスを彫り  
こんだ扁額へんがくがある。  
隣接する駿馬神社とともに、明治  
42年(1909年)駿河稲荷神社に合  
はやま  
祀されている。

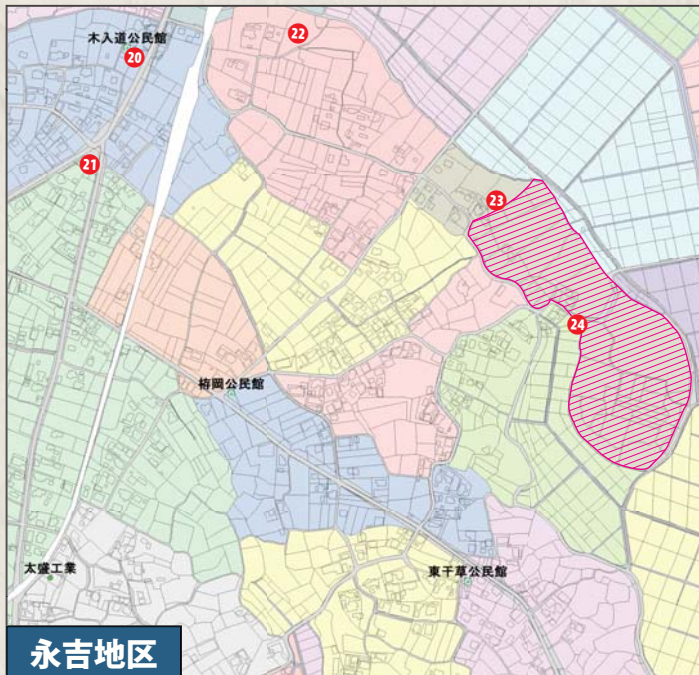


22 駿河稲荷神社

応永13年(1406年)創建の棟札があるが、それ以前の13  
世紀頃、大隅守護・名越氏の代官・肥後氏が当地へ赴任すると  
ともに、一族の氏神として勧請したことが始まりと考えられる。  
祭神は、倉稲うかのみたまのみこと霊命、大田おおたひめのみこと姫命・大宮おおみやひめのみこと姫命とされ、古くから五  
穀豊穰・諸業繁盛の神様として信仰を集めた。旧村社である。

23 梶谷城跡

『梶谷城』は古文書等に全く記録がされていないが、  
地形・地名から城跡と推察されている。  
大崎町史には『鎌倉時代、大隅守護・名越氏の代官  
であった肥後氏が新調堀を治所とした』とあり、その  
肥後氏が梶谷の台地の南部を非常時の拠点として構え、  
訓練場としていたのではないかと考えられている。



歴史を歩く 63

おおさきの歴史を旅してみませんか ②9

未知なる歴史が探究心をかき立てる地域(永吉地区) ⑤

24 山王七神大明神

棟札から、宝暦10年  
ほうれき  
(1760年)に蔵ヶ崎門の  
かど  
名頭みょうず甚六という人物が造  
立したことがうかがえる。  
蔵ヶ崎門の氏神として、  
家内安全・子孫繁昌・牛  
馬の息災・五穀豊穰を祈  
願したものと考えられる。



※門=薩摩藩の農村にお  
いて、数戸ごとに編成  
された生産共同体